

図書館システムと読書メーターとの連携について

1 趣 旨

これまで市立図書館では、図書貸出の過去履歴を保有せず、利用者自身が手書きで読書記録を残しておくための冊子「読書手帳・読書ノート」を配布してきました。

利用者からは、もっと簡単で便利に読んだ本の記録を残すことができないかとの要望も寄せられていたため、全国的にも珍しい取り組みとして新たにインターネット環境を活用した「読書記録 Web サービス」を提供することで、利用者の利便性向上を図ります。

2 サービスの仕組み（裏面参照）

現在、貸出などを管理している図書館情報総合管理システムと、民間が提供する Web サービス『読書メーター』を連携させることにより、利用者個人が所有するパソコンやスマートフォンで、簡単に読書記録サービスを利用することができます。

具体的には、図書館ホームページのマイページに表示されている貸出一覧から、本を選択することで、読書メーターに記録することができます。

3 『読書メーター』の主な機能

- (1) 読んだ本の記録を残すことができる
- (2) 読書量をグラフで記録管理できる
- (3) 読んだ本を作家やジャンルごとに整理することができる
- (4) 投稿された本の感想を読むことができる
- (5) 本を通して読書家同士の交流を図ることができる

4 導入効果

パソコンやスマートフォンの保有率が急速に高まる中、図書館利用者は読書メーターを利用することで、簡単に読書記録を自身で作成することができます。

また市は、既存のシステムと連携することで開発経費を抑え、より利便性の高いサービスを提供することができます。

5 開始時期

令和2年10月1日